



ぬまた 市議会だより

第65号

3月定例会

令和4年
5月1日



小学校入学おめでとうございます



新しい沼田へ

内容 令和4年度予算
3月定例会 など



沼田市議会HP

令和4年度予算

可決

対前年度比

6億3千万円減

一般会計 219億5千万円

予算審査特別委員会では、正副委員長にそれぞれ井上弘議員、島田康弘議員を選出して、令和4年度予算関連議案を延べ6日間に渡り審査しました。

新年度予算では、**シン・ヌマタ事業**、**AIデマンドバス運行**、**DX推進**などの新規事業や地域自治推進事業、保健福祉センター改修事業、電子地域通貨事業、スマートウェルネス推進事業、海外販路促進事業などが計上され、条例や新規事業、生活に密接した事業などに対して、延べ31人が194件にわたり様々な観点から質疑を行いました。

細部にわたり審査を行った結果、「コロナを越えて～未来へつなぐ持続可能なまちづくり～」の実現に向けた施策を実施するために必要な予算であると認めるとともに、市民の生活に寄り添うきめ細やかな事業実施がなされるよう期待し、いずれも原案のとおり可決しました。

予算の基本方針

コロナを越えて～未来につなぐ持続可能なまちづくり～

◆感染症への対応とコロナ後の円滑な市民生活の実現のため各種施策の充実

- ワクチン接種の着実な進展
- 新しい生活様式の実践
- 市内経済の活性化
- 生活基盤の整備

◆日本の未来を拓く4つの原動力<骨太の方針2021>への対応

- グリーン社会の実現
- 官民挙げたデジタル化の加速
- 日本全体を元気にする活力ある地方創り
- 少子化の克服、子どもを産み育てやすい社会の実現

討論

予算に賛成

(一部抜粋)

新型コロナウイルス感染症の影響により事業推進が困難であったと思いますが、厳しい財政状況の中、地域事情や市民ニーズに対応した持続可能なまちづくりに向けた予算であると高く評価します。

市民生活と地域経済に直結した多くのソフト事業を展開することにより、充実した取組が図られるものと考えますが、計画的な対応を期待します。

予算に反対

(一部抜粋)

2年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の猛威が市民生活と地域経済を直撃し、暮らしも経済も困難に直面しています。

コロナ禍の中で少なからぬ事業が中止となり、新年度では、財政調整基金繰入額が増額しましたが、財政的にゆとりができなさらぬ数々の市民要望の実現、コロナ禍で困難に直面している市民生活と地域経済に直接的支援を行うべきです。

事業内容

- ・アート×行政プロジェクト
- ・「風の谷」創造プロジェクト

A I × データ時代における「沼田市」の再生と人材育成に係る事業で、市民のシビックプライド醸成、シティブランディングの推進、または「風の谷」構想の実現に資する基幹となる施策を展開します。

※「風の谷」構想…安宅和人氏が提唱する、「都市集中型の未来に対するオルタナティブ」をテクノロジーをうまく使い倒しながら作ろうという運動論



「風の谷」構想提唱者の安宅和人氏ほか関係者を招いたパネルディスカッション(令和3年度実施)

A

I デマンドバス運行



デマンド化される『ぬまくる』

現在定時定路線で運行しているバスを、午前9時～午後5時の時間帯(日曜・祝日を除く)は市内の500カ所に設置した停留所をデマンド型で、それ以外の通勤・通学利用が多い朝・夕の時間帯は従来どおり定時定路線型で運行します。

これにより、市民の移動の利便性向上と、市内の交通空白地域の解消を目指します。なお、運行開始から約1年間は実証実験とし、実績や利用者のニーズを踏まえてA I デマンドバスの改善を行い、その後も運行を継続する予定です。

D

X 推進

行政サービスも含めた生活の変革に向け、デジタル技術を利用するDXを進めるため、最も必要とされる人材育成とDX推進に関わる人材を確保します。

※DX(デジタルトランスフォーメーション)…デジタル技術を用いて、製品やサービス、ビジネスモデルや組織を変革し、競争優位性を確立するための取組。

具体的には、テクノロジーの活用、レガシーシステムからの脱却、デジタル人材の採用・育成などを実施するものです。



沼田市DXの先駆け 電子地域通貨てんぐー

ココが気になる!! 新年度予算

議案の審査に当たり、市に対して様々な質疑を行いましたので、一部を紹介します。

地域自治推進事業

予算額 456万円

Q 地域の課題検討と解決に向けどのように取り組むのか

A 「地域づくりモデル事業」を継続し、地区での話し合いによる地域づくりを進め、課題を洗い出し、その課題解決に向けた取組を進めていく予定です。

同時に、地域の在り方や地域づくりの仕組みを検討するため、市内活動団体、ボランティア団体、地域住民、市内法人等々多種多様な人材を構成員とした委員会を立ち上げ検討を進め、今後の本市における地域づくりのビジョンを作っていくと考えています。

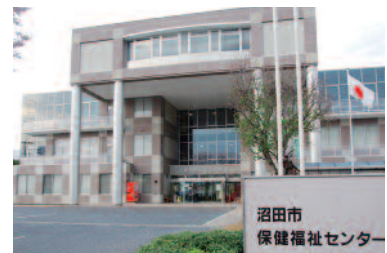


保健福祉センター改修事業

予算額 1億4,579万円

Q 用途変更に伴う改修工事について

A 1階のデイサービスセンターの業務終了、3階第2福祉作業所の第1福祉作業所への統合に伴い、スペースを有効活用するため、会議室等へ改修を行うとともに、耐用年数を超えたエレベーターを更新します。1階は、防音機能を有する会議室、授乳室やバリアフリートイレを設置し、3階には、和室を設けるなど、保健福祉の機能拡充を図るとともに、中央公民館の代替施設の1つとして、多目的利用を促進します。



沼田市
保健福祉センター

電子地域通貨事業

予算額 6億645万円

Q IT機器導入支援補助金について

A 電子地域通貨の運用において重要な、スマートフォン等の導入を推進するため、高齢者導入支援と加盟店導入支援の2本立てで実施します。

高齢者への導入支援は、スマートフォン等を初めて購入し、tengooの登録を行った高齢者を対象に、2万円を上限に補助金を交付します。

加盟店導入支援は、tengoo加盟店がスマートフォンまたはタブレット端末を購入または更新した場合に、補助金を交付します。



中心市街地土地区画整理事業

予算額 3億6,860万円

Q これまでの進捗状況と新年度の事業内容について

A 進捗状況は、令和3年度末の見込みで、事業費ベースの進捗率で59.6%です。新年度の事業内容の主なものは、物件補償費であり、4街区中町部分、本町通り南側の建物移転を中心に推進していく予定です。区画整理事業は、上之町2街区、金比羅通り線の拡幅、歩道整備に一部着手するとともに、関連する水道工事、下水道工事を補償工事として行います。



ファシリティマネジメント推進事業

予算額 2億2,635万円

Q 事業内容とりわけ新年度事業の特筆すべき事項について

A 対象施設が140施設となり、令和3年度まで講演会形式で開催していたファシリティマネジメント職員研修を、ファシリティマネジメントに興味を持つ職員を募り、より深い理解を浸透させるため、グループワーク形式での実施を計画しています。



水と緑の大地ふるさとめまた寄附事業

予算額 2億5,573万円

Q 事業の内容と目標について

A 複数のふるさと納税ポータルサイトを利用して、本市の特産品を全国にPRし、ふるさと納税返礼品に地元特産品を用意することで、地域経済の活性化を図っています。

令和4年度は、返礼品の増加、ふるさと納税額1億7千万円を目標に事業実施します。



新型コロナウイルス感染症対策事業(観光交流課)

予算額 5,548万円

Q 周遊バスツアー誘致業務委託料の委託先と委託内容について

A 委託先は本事業の委託実績があり、バスツアーの効果的な誘致、及び連絡調整等がスムーズに行える、一般社団法人沼田市観光協会への委託を考えています。昨年度に引き続き、本市への貸切バスツアーを行う旅行会社に対して、助成を行い誘客を図ります。



スマートウェルネス推進事業

予算額 1,147万円

Q システム改修委託料、システム使用料について

A 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、スマホアプリを使用した読込の利用実験を実施しており、今後の利用促進のため、システム改修を行います。

システム使用料は、個人の活動量計から読込を行ったデータを蓄積し、個人のデータをシステムにより分析・評価し、歩数、中強度活動時間等を「安心生活MYカルテ」として、見える化します。

3・3・1環状線(栄町工区)事業

予算額 8,163万円

Q 進捗状況と新年度の事業内容について

A 進捗状況は、事業費ベースの進捗率で、令和4年度末で約73%となる見込みです。

事業内容は、道路改良工事を120メートル、土地購入、物件補償をそれぞれ1権利者、その他、測量委託、支障物件等調査業務委託を予定をしています。



曲屋管理運営事業

予算額 5,003万円

Q 改修工事について

A 南郷の曲屋の茅葺き屋根の老朽化に伴う、屋根の葺き替え工事を行います。



3月 定例会

3月定例会は、2月22日に開会し、3月15日までの22日間、条例の制定・改正、令和4年度当初予算、令和3年度補正予算、教育長の任命同意など計47件と、議会からの決議案1件を審議しました。

また、8人の議員が一般質問を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

沼田市中小企業・小規模

企業振興基本条例制定

沼田市中小企業・小規模企業振興基本条例は、地域社会の担い手として重要な役割を果たしている中小企業・小規模企業の振興のため、市の責務等を明らかにするようより、中小企業・小規模企業の振興に関する施策を総合的に推進し、地域経済の活性化を図り、市民生活の向上に寄与することを目的としています。

条例制定に伴い、沼田市中小企業振興条例が廃止されます。

市議会議員、特別職、職員 の期末手当支給割合を改正

人事院勧告で、期末手当の引き下げの見直し勧告がされ、本市職員の期末手当についても国に準じ、所要の改定を行いました。また、これに合わせ、市議

会議員、市特別職、会計年度任用職員の期末手当についても改定しました。

条例に反対 (一部抜粋)

長らくコロナ禍の中、暮らしも営業も危機的状況が深刻化するばかりです。

市職員や会計年度任用職員の一時金を削減することは、さらに暮らしと地域経済を悪化させ、民間企業の給与引き下げにもつながりかねません。

令和3年度補正予算

国県支出金の確定または、制度改正等により既定の予算に増減を生じるもの、特別な理由により緊急に対応する必要があるもの等について、1億8,973万5千円を減額します。

主な内容は、ホストタウン交

流事業の減額、新型コロナウイルススワクチン接種事業の追加、予防接種事業、がん検診事業の減額、武道場整備事業の減額などです。

経済建設常任委員会 ウクライナ避難者支援要望

ウクライナでは、軍事行動で多くの犠牲者が出ており、国境を越えて避難する方が増加しています。経済建設常任委員会では市に対して、市営住宅などを利用したウクライナからの避難者への支援を要望。その結果、市では人道的支援として市営住宅20戸を無償で貸与するとともに、食品、日用品等必要量の生活物資提供、生活支援サポートなどを行うこととなりました。

新教育長に竹之内篤氏

教育長の横坂隆司さんの任期が3月31日をもって満了となることから、その後任に、竹之内篤さんの任命に同意しました。



竹之内篤 教育長

ロシアのウクライナ侵略 に対する抗議を決議

3月4日、ロシアのウクライナ侵略に抗議するため、議員発議による決議案を可決しました。

ロシアによるウクライナ侵略 に断固抗議する決議(抜粋)

ロシアによるウクライナ侵略は、国際社会の平和と秩序を著しく脅かすものであり、国連憲章に違反するこの行為は断じて許すことはできない。

恒久平和の実現は、全世界の人々が望むものであり、多くの生命が失われることは断じて許されず、国家固有の主権が一方的に軍力によって侵害されたことは国際法に照らしても許されることではなく、極めて遺憾である。

今この瞬間にもウクライナの地では、銃弾やミサイルの恐怖の下に多くの幼い子どもや女性、人々の命と人権が奪われようとしている。

ここに沼田市議会は、ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議するとともに、直ちに軍事行動を中止し、無条件での完全撤退を求めるものである。

市政を問う！

一般質問

市のさまざまな課題等について、議員が提言も含めて市に考えを問うのが「一般質問」。質問内容は、議案とは関係なく各議員が自由に決めます。ここでは、各議員が自ら編集したダイジェスト版で質問内容をお伝えします。QRコードからは、各議員の一般質問録画映像がご覧いただけます。

中村 浩二	安全・安心の確保
茂木 清七	安心して暮らせるまちづくり
金子 浩隆	市民の命と暮らしを守る責任を持って
桑原 敏彦	沼田市農業DX構想とスマート農業の推進
井上 弘	住み慣れた地域でいきいき生活できる沼田市
大東 宣之	新型コロナ対策、農業対策、沼田城発掘調査
高柳 勝巳	2期8年の横山市政の評価
井之川博幸	市民の命と健康・生活環境を守る市政を

スマホから議会を見よう！
議会インターネット中継
 文章では伝わらない、生の議会を映像でご覧ください。



◀ 議会中継
 会議名や議員名を選んで視聴できます。

安全・安心の確保

Q 指定避難所や福祉避難所の耐震化やバリアフリー化等の整備推進について伺います。

A 指定避難所は、88・9%が耐震化されています。バリアフリー化は40%にとどまっています。また、福祉避難所は、全ての施設で耐震化、バリアフリー化が図られています。今後、多くの施設が安全・安心な避難所となるよう、検討を進めていきたいと考えています。

Q 利根町における防災行政無線廃止後の防災施設等の整備推進について伺います。

A 電波法の改正により、アナログ方式の防災行政無線は使用期限が定められ、利根町の防災行政無線は、やむなく廃止することとしました。防災行政無線の代替手段は、緊急告知FMラジオ、ホットとメールぬまた、防災アプリなどで、日頃から周知に努めています。

Q 生涯学習の振興と社会教育の推進について教育長に伺います。

A 市民一人ひとりが、あらゆる機会、あらゆる場所で学習することができ、その学習成果が生かせるよう、関係機関と連携を図りながら、社会教育をはじめ、様々な教育機能の総合的な整備に努めることとしています。

Q 市民文化や芸術・芸術等の推進について教育長に伺います。

A 優れた芸術や文化の創造・発展を図るとともに、重点施策として、市民文化の振興を掲げ、文化祭・芸能祭の開催や、柳波賞をはじめとした3つの文学賞の実施及び芸術・芸術文化団体への活動支援などを通して、市民文化や芸術・芸術等の推進に取り組んでいます。



廃止される利根町防災行政無線

中村 浩二



一般質問

安心して暮らせるまちづくり

茂木 清七



市民の命と暮らしを守る責任を持って

金子 浩隆



Q濃厚接触者で自宅待機などされている方々への食料などの調達について沼田市はどのような対応をされているのか伺います。

A自宅待機を求められる中、できる限り通常の生活が送れるよう、希望に応じて買い物支援を行っています。

Q3回目のワクチン接種が始まりましたが、早く市民に行きわたるための沼田市の取組について伺います。

A沼田利根医師会の協力をいただき、個別接種実施医療機関を27施設に増やすなど、接種体制の強化を図っています。

Q2月28日までの申請受付を行った事業継続支援金の申込状況と今後の取組について伺います。

A申請期間中に法人等から103件、個人事業主から123件、合計226件の申込があり、総額4,935万円を交付決定しました。

Q沼田市における農業後継者支援について伺います。



A経営発展に必要な機械・施設等の導入支援などの経営発展支援事業の新設が予定されています。青年の就業意欲の喚起と就農後の定着を図っていきたくと考えています。

Q横山市政2期8年の運営について伺います。

A「暮らしを実感できる文化的生活」「豊かな等身大の沼田」を基本理念に、テラス沼田や学校給食センターの整備、電子地域通貨「てんぐー」の導入などに取り組み、引き続き「こころ豊かに暮らし、幸せを実感できるまちづくり」に取り組んでいきます。

Q三峰山の「盛り土」について、年の暮れ、「地元県会議員から、県の調査で汚染物質が検出されたと報告があった」と同僚議員から電話がありました。

すぐに確認したのですが、「市にはそんな情報は入っていない。調査します。待ってください」とのことでした。

2月の民生福祉常任委員会を傍聴しました。

「現在、県の調査が継続中であり、結論が出ていない」「現段階では断片的な情報提供は控えるように言われている」。

誠に不可解です。本当のことを分かりやすく、責任を持ってお話しください。

A県における調査が依然として継続中です。昨年7月に県と市が合同で現地の立ち入り調査を行い、その後11月に県において排出元への現地調査を行っています。これらの調査の中で、搬入された土砂が汚染されている可能性があるため、県において

現在、土地所有者に対して、現地の土壌検査を行うよう依頼していることを承知しています。

Q「お化け屋敷みたい」な廃墟ホテル、撤去補助で各地の景観回復へ。こんなネットニュースを見つけました。

沼田市もこの国の支援に食らいつけるよう、至急研究をしてはいかがでしょうか。

A廃墟ホテルの撤去は、景観の回復や危険性の回避など、温泉街のイメージ向上による誘客が期待されます。補助事業の実施にあたっては、地域一体の合意形成がなされた上での観光地再生計画等が必要となるため、関係団体との情報共有を行いながら、研究していきたいと考えています。



三峰山の盛り土

沼田市農業DX構想とスマート農業の推進

桑原 敏彦



住み慣れた地域でいきいき生活できる沼田市

井上 弘



【薄根地域ふるさと創生推進協議会では、日曜農業者制度の骨子をまとめ、耕作放棄地の増大を抑制するために農業体験部、後継者育成部などの組織を作り、持続可能な地域社会の構築を考えています。このような地域の活動を支援し、広く発信していくべきです。



石墨の棚田

市民による日曜農業者制度等の導入支援について伺います。

【A】薄根地域で進められている棚田等の地域資源の有効な活用への取組等に対しても、地域や地域おこし協力隊と連携を図り、支援や情報発信をしながら地域の担い手確保を進めていきたいと考えています。

【Q】スマート農業技術では、センサーによって取得したデータを

Aで分析して活用する事で、経験の浅い農業者へ技術を継承していく事が可能になりました。沼田市においても名産であるりんごやぶどう等、先端技術による技術継承は近い将来必ず必要になると考えます。ICT技術を活用した農業技術の継承について伺います。

【A】本市でも、生産性の向上を目的とする新技術の活用について、農業経営者と情報共有を図っていききたいと考えています。

【Q】地域資源を活かして儲かる農業を実践するには、沼田市農業DX構想を早急に作り上げ、農業分野での地方創生を計画すべきです。スマート農業を活用した新たな指針の必要性についてお聞きします。

【A】農業分野においても、遅滞なくDXを実現していく必要があると認識しています。好循環を生み出せるよう、関係機関等と連携を図りながら、研究していきたいと考えています。

【Q】住み慣れた地域でいきいきと生活していくための地域包括ケアシステム構築の目標年度まであと3年です。課題と、解決にどう取り組んでいるか伺います。

【A】協議体の活動等を通して、取組を進めてきましたが、住民参加型の地域づくりモデル地区の活動も始まっており、地域の実情に応じた情報提供や意見交換等、庁内連携により事業を推進していききたいと考えています。

【Q】高齢化の進行や財政状況から、今後、重要なのは互助の仕組みとを考えます。互助の仕組みを長く運用していくには、助ける側にもメリットのある有償の仕組みが効果的です。有償の地域の支え合い、助け合いの仕組みについてどう考えるか伺います。

【A】今後の地域づくりに向けた具体的方策として、話し合いを重ね課題の洗い出しに取り組んでいます。課題の解消等に向けた検討はこれからですが、有償ボランティアについても有効な方

法の一つであると認識していますので、参考とさせていただきます。とさせていただきます。

【奨学金返還支援制度】

令和3年6月現在、33府県487市町村が奨学金返還支援に取り組んでおり、今後実施自治体は増えていくことが予想されます。「今後の検討に値する」と言われた奨学金返還支援制度の検討状況を伺います。

【A】県内では2市2町1村の自治体が独自の奨学金返還支援策を行っています。若者の就労状況や所得等の生活実態の把握に努めています。引き続き、奨学金返還支援策について研究していききたいと考えています。

各地で拡がる奨学金返還支援制度



市政を問う!!

沼田市議会だより

一般質問

一般質問

新型コロナウイルス対策、農業対策、沼田城発掘調査

大東 宣之



Qまん延防止等重点措置適用による経済への影響と支援にどのように取り組むのか伺います。

A国の事業復活支援金や群馬県感染症対策営業時間短縮要請協力金など支援が行われていますが、状況を注視し、効果的な支援について検討していきたいと考えています。

Q飲食店や宿泊業の水道料、下水道料等の固定費への支援についてどのように検討し対応するのか伺います。

A上下水道料金の支払いが困難となっている事業者等に対する電話相談を開始し、料金の支払いを猶予する措置をとることとし、今後についても、感染症の状況を見据えつつ、引き続き対応したいと考えています。

Qコロナ禍や天候不良等による農業への影響と支援にどのように取り組むのか伺います。

A産地としての統一的な感染防止対策を検討するとともに、感染防止対策ポスターの配布や消

2期8年の横山市政の評価

高柳 勝巳



Q横山市長在任2期8年の評価と課題について伺います。

A1期では、「こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち沼田」を将来像とする、沼田市第六次総合計画を策定し、実現に向けた各事務事業の適正かつ効率的な執行に努めるとともに、懸案であったグリーンベル21を複合施設テラス沼田として整備・改修したほか、利南運動広場、学校給食センターの整備を進めるなど、ハード事業を中心に進めてきました。

2期では、ハード整備の成果を市民生活に活かしつつ、公共施設等の維持更新が次世代への大きな負担にならないよう、公共施設等総合管理計画の着実な推進により、量から質への転換を図るとともに、「ハードからソフトへの転換」として、市民の健康増進を図る「スマートウェルネスぬまた」など、各種ソフト事業を推進してきました。

Q地域通貨は沼田市独自の価値



発掘調査見学会

毒液の配布等による支援を行ってきました。農漁業災害に対しては、沼田市農漁業災害対策特別措置条例に基づき支援を行い、収入保険や共済への加入推進を行っていきたいと考えています。

Q沼田城跡発掘調査の成果等についてどのように検討されているのか教育長に伺います。

A遺構が良い状態で残っていることや、城が無くなった時の状況がよく保存されていることなどが評価されていると考えています。

Q今後の発掘調査はどのように進めるのか教育長に伺います。

A令和4年度は、英霊殿付近の発掘調査を予定しています。



令和元年にオープンしたテラス沼田

の創造と共有にあります。通貨はその交換方法であり、「沼田市にはお金で買えない価値がある」とした趣旨と視点に立った地域通貨の認識と利用の拡大の検討の有無を伺います。

A利用者数2万737人、発行総額約23億4,929万円のうち利用総額約21億3,670万円であり、コロナ禍における市内事業者支援のための消費喚起並びにキャッシュレス決済の普及推進において、大きな効果があったものと考えています。

今後の利活用は、行政ポイントを軸とする、「地域づくり」としての機能についても充実していく考えです。

市政を問う!!

市民の命と健康・生活環境を守る市政を

井之川 博幸



Q 新型コロナウイルス感染症対策について、コロナ病床を持っている市内の病院への今後の対応及び市独自の支援について伺います。

A 医療機関からの要請に応じ、不足している物資等の提供を行うとともに、県や医療機関と連携し、風評被害の抑制やコロナハラスメントへの対応等、継続して取り組んでいきたいと考えています。

Q 市内の自宅療養者に対する市独自の支援について伺います。

A 保健所からの要請に基づき、市が対応することとなっています。血液中の酸素飽和度を計るパルスオキシメーターを配付するとともに、健康観察センターで、健康観察や療養相談を実施しており、希望に応じて生活支援物資も提供されています。

Q 市内佐山町に株式会社ウイズウェイストジャパンが計画している一般廃棄物最終処分場に対する群馬県廃棄物処理施設等の事前協議等に関して、市長の意

見書の内容には、周辺地域住民等の意見の内容はどのように反映されているのか伺います。

A 周辺地域住民等が心配している生活環境、風評被害、周辺地域、搬入車両、地下水などの対応について、十分な配慮が必要な旨の意見書を提出しました。

Q 合併浄化槽の普及推進に関して、個人宅を対象とした国の補助金改正を取り入れた市補助金の改正について伺います。

A 単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換設置を行う場合に追加された宅内配管費についての国庫及び県費補助事業を活用して、令和4年度から合併処理浄化槽の一層の普及促進を図っていきたく考えています。



処分場が計画されている佐山町北部の里山

一般質問取り下げ

山宮敏夫議員より一般質問の通告がありました。事情により通告が取り下げられました。

通告内容

1 働きやすいまちづくり
ア コロナ禍における市内事業

イ 所の労働環境について
沼田市役所内の労働環境について
ウ 沼田市役所関連における労働管理について
エ 安心安全なまちづくり
沼田市地域防災計画について

明るい選挙にご協力ください

これからの時代を担う若い世代の皆さんが、選挙や政治について関心を持ち、政治が私たちの生活や社会にどのように関わっているのかを考えるきっかけとなるよう、毎年「明るい選挙ポスターコンクール」が実施されています。

沼田市内でも86名の応募があり、利根小学校4年井上伊織さんと白沢中学校3年平形陽詩さんの作品が令和3年度群馬県明るい選挙ポスターコンクール「県審査優秀賞を受賞しました。市民の皆さまも明るい選挙にご協力をお願いします。



白沢中学校3年 平形陽詩さん



利根小学校4年 井上伊織さん

行政調査

報告

沼田市議会では、委員会ごとに先進自治体等の行政調査を実施しています。
今回は、総務文教常任委員会の概要を掲載します。

総務文教常任委員会

「GIGAスクール構想」の推進により生徒一人ひとりにノートパソコンが用意され、授業等で実際に使用されていることから、沼田中学校で授業における活用状況の調査を行いました。



授業の様子を視察

木樽校長から授業での活用状況などの概要の説明を受けた後、

委員が2班に分かれ各教室を巡り、生徒たちが授業でどのようにノートパソコンを活用しているのか調査しました。

1年生の英語の授業では、オンラインリアルの友達に日本の文化を紹介する手紙を書き、英語の表現の仕方をパソコンに蓄積していました。

2年生の理科の授業では、水蒸気量の棒グラフを作成し、そのグラフと飽和水蒸気量の線グラフを重ね合わせ、雲のでき方の授業で活用されていました。

3年生の英語の授業では、パソコンで、英語のクイズ大会の問題を作成していました。

パソコンを活用することによって、言葉で説明するより短時間でグラフなどを作成することができ、理解が進んでいるようでした。



議員所感

理科の授業で、音の波形の観察・比較、音の高低と振動の関係性を学ぶ実験では、オシロスコープの波形が即座に画面に反映されるなど、利用価値が高いと感じられました。

アプリの活用方法に戸惑っている生徒もいるようでしたが、一人も取り残さないようパソコンの活用について丁寧な支援が必要と感じました。

次回定例会の日程

次回定例会は、6月7日（火）からの予定です。
インターネット中継も行っています。



編集後記

今年も利南運動公園に植えられた「陽光桜」が、満開の花をきれいに咲かせました。

2年前に植えられた「陽光桜」は、まだ幹周りも細い幼木ですが、鮮やかなピンク色の花を咲かせます。

この「陽光桜」は、愛媛県の高岡正明氏が私財をなげうって、人工交配を繰り返して作りあげた桜です。

高岡氏は、第2次世界大戦中、青少年に軍事教練を施す青年学校の教師として、生徒を戦地に送り出し、多くが生きて帰ってくるのがなかったことを悔い、生徒たちが戦死した極寒のシベリアや亜熱帯の地でも咲く新しい桜をつくることを決意し、約30年の歳月をかけ「陽光桜」を誕生させました。

高岡氏は「陽光桜」に「非戦の誓い」を託し、無償で国内外に贈り、今も平和のシンボルとして咲き続けています。

委員 大東宣之

議会だより編集委員会

委員長 井上 弘
副委員長 山宮 敏夫

委員 高柳 勝巳 永井 敏博
三ツ石岩男 大東 宣之

戸部 博